

災害時簡易マニュアル（受け入れ側用）

— 外国人を受け入れることになったら —

外国人は言葉や文化の違い、災害経験の少なさ等のため、大規模災害発生時に要援護者となります。被災した時、大変なのは誰もが同じですが、言葉や風習の違う外国人はもっと不安な気持ちになっています。少しでも不安を和らげてもらえるよう、彼らの立場を知っていただきたく、このシートを作成しました。

1 言葉について

外国人の中には日本語が苦手な方も多くいます。「ゆっくり」「強弱をつける」「です、ますをつける」「ふりがなをつける」など、話す時も書く時も、短い文章でわかりやすい日本語を使用してください。

(例) ○ ここで ^{みず}水が もらえます。 ならんで ください。
× ここは給水所です。水を配布するのでお並びください。



2 イスラム教徒の方に対して

ハラール料理

宗教上の戒律に沿った「ハラール料理」を食べます。宗教上のルールとして、「豚肉」「アルコール」は出汁や調味料としても口にすることができません。極力避けて提供をお願いします。どうしても、それ以外ない場合は、飲食しても可能です。



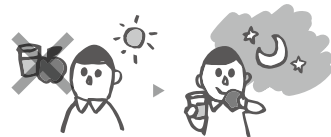
お祈り

1日5回、決まった時間にお祈りをします。その場所を確保してあげてください。置一畳分が1人分の広さです。お祈りの前に身を清めるため、顔や手を水で洗いますが、水不足の場合は、壁のほこりや床の砂で、手を清めることも可能です。



断食

イスラム教には断食月(ラマダーン)があります。日の出から日没までの間、飲食をしてはいけません。ただし、太陽が沈んでいる間(日没から日の出まで)は、飲食してもいいので、食事や飲み物の提供をお願いします。



3 ヒンドゥー教徒の方に対して

宗教上、「牛肉」を食べることができません。極力避けて提供をお願いします。



4 所属先、進学先の安否確認

所属先や進学先へ、安否の連絡を取ってあげてください。



5 母国への連絡

ネット回線、電話回線が復旧した際は、母国の家族に連絡ができるようにご支援をお願いします。



6

外国人と日本人には習慣の違いがあります

文化や風習の違いから、私たちがしないような行動を取ることもあります。

(例)

不安だったので、歌を歌った。

話す声が大きい。



7

避難所で外国人を受け入れる際に、 下記をご活用ください

(実例)

- We will do what we can to help you.

わたし かのう かぎ てつだ
私たちは可能な限りお手伝いします。

- Please tell us : おし 教えてください。

- | | |
|--------|-----------------------|
| ① 名前 | name |
| ② 住所 | address |
| ③ 国籍 | country / nationality |
| ④ 所属 | school / company |
| ⑤ 食事制限 | food restrictions |
| ⑥ 必要な物 | special need |

- Please tell us if you plan to leave this evacuation center.

ひなんじよ はな つた
もし避難所を離れるときは、スタッフに伝えてください。

その他の情報・もっと知りたい方は <http://sharelifedesign.com/>

制作:NPO法人SHARE LIFE DESIGN 協力:NPO法人 えひめ311、(公財)愛媛県国際交流協会

このマニュアルは、えひめボランティア助成金「愛・ウェブ2014」を受けて作成されています。

作成日:2015年7月 ver.1.0